

韓国SKルブリカンツ向け潤滑油ベースオイル製造用原料を水島製油所から初出荷

記者各位

当社(社長:一色 誠一)は、2月5日に韓国SKグループであるSKルブリカンツ株式会社(社長:李 基和 イ・キファ、以下「SKL社」)の韓国蔚山(ウルサン)製油所に向けて、水島製油所から潤滑油ベースオイル[※]の原料を初出荷し、本日、蔚山製油所において荷揚げが完了しましたので、お知らせいたします。

当社は、2012年10月に、蔚山広域市のSKエナジー社ウルサンコンプレックス内に新設された潤滑油ベースオイル製造設備を保有するYubase Manufacturing Asia Co., Ltd.(SKL社の100%子会社)の転換社債を購入し、SKL社と共同で潤滑油ベースオイル製造事業に取り組んでおります。

潤滑油製品においては、より一層の省燃費・長寿命化への対応が求められており、高品質潤滑油製品の基材であるグループⅢベースオイルの需要拡大が見込まれております。

今後も水島製油所から、グループⅢベースオイルの原料を継続的に出荷することにより、高いコスト競争力を有するグループⅢベースオイルを安定的に確保し、ワールドワイドでの潤滑油製品の販売拡大を図っていく予定です。

当社は今後とも、アジア域内を中心に拡大するエネルギーおよび素材需要を取り組むべく、海外事業の強化・新規事業の育成に努めてまいります。

※ 潤滑油製品の原料。これに各種添加剤を配合することで、潤滑油製品となる。一般潤滑油用ベースオイルの最高グレードであるグループⅢは、高粘度指数(温度変化に対して粘度変化が少ない)、低蒸発性、低温粘度特性に優れるといった性能を持つ。

以上